



平成22年度 決算報告

羅臼の台所事情

～ 町のお金はこのように使われました ～

知床らうす国民健康保険診療所

(平成24年4月1日からの新名称)

平成24年度開設に向けて建設工事をしています



※イメージ図

羅臼町役場 税務財政課



羅臼町のお金の使われ方について説明します。
皆さんの支払った税金や国・道から支払われるお金がどれだけあり、どのようなところに使われているのかをお知らせします。



町には7つの会計があり、それぞれ歳入と歳出があります。全体を見てみましょう。

平成22年度 決算

		歳入	歳出	差引
1.一般会計		40億6,850万円	39億4,168万円	1億2,682万円
特別会計	2.国民健康保険	11億8,291万円	11億5,827万円	2,464万円
	3.介護保険	3億1,687万円	3億1,678万円	9万円
	4.老人保健	141万円	141万円	0万円
	5.後期高齢者医療	4,768万円	4,697万円	71万円
	6.国民健康保険診療所	3億2,071万円	3億1,598万円	473万円
公営企業会計	7.水道事業	2億5,891万円	3億3,242万円	△7,351万円

※本書に記載しております数字につきましては、端数処理を行っております。

平成22年度を振り返って

羅臼町の財政赤字を全額返済してから、最初の年度でしたが、診療所建設に向けた補正予算が議決され、町民の安全・安心をより確かなものとして動き出すことができました。

これも、町内外からの診療所建設への寄附金が大きく後押ししてくれたものであり、感謝申し上げます。
今後とも、町政運営にご理解ご協力をお願いします。

歳入

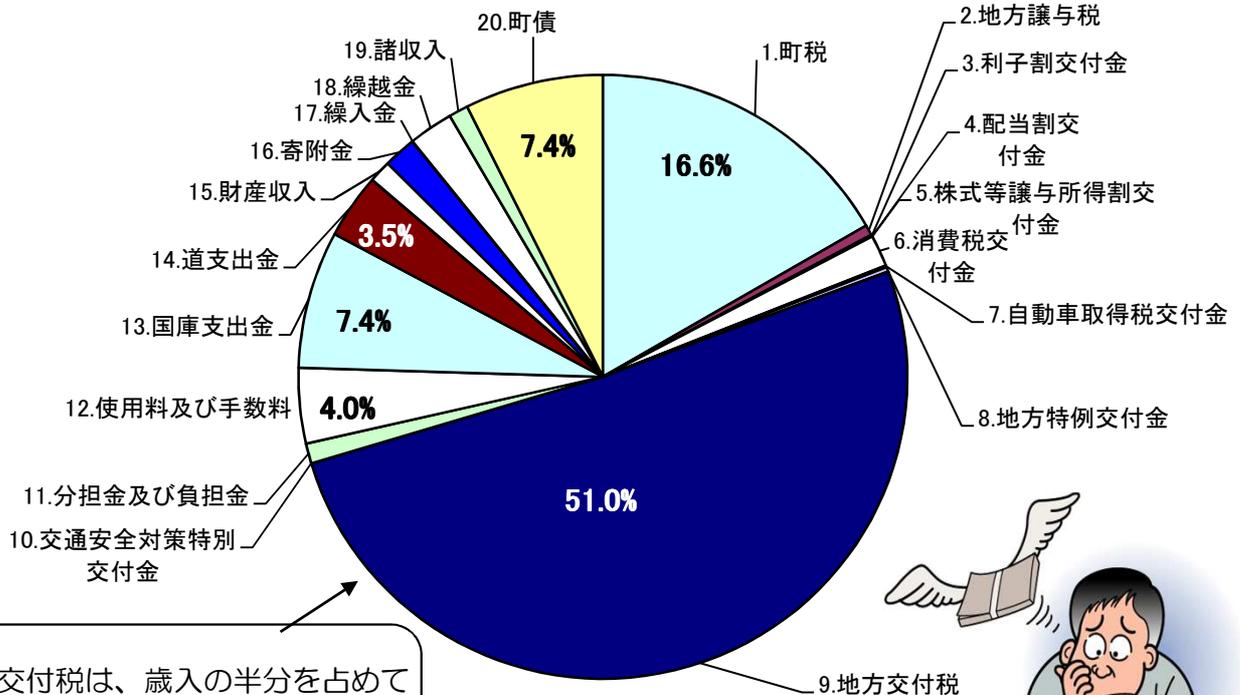
(町に入ってくるお金です)

私たちが納めた税金は、
全体の16.6%です。



1.町税	6億7,734万円	町民の皆さんからの税金
2.地方譲与税	2,268万円	自動車重量税等、国税から町への配分
3.利子割交付金	303万円	預金利子に係る税の交付金
4.配当割交付金	77万円	株式等の配当に対する道税からの配分
5.株式等譲与所得割交付金	25万円	株式等の譲渡益に対する道税からの配分
6.地方消費税交付金	6,831万円	国から町に交付される消費税
7.自動車取得税交付金	456万円	自動車取得税の交付金
8.地方特例交付金	957万円	国の減税により町の収入不足を補うための交付金
9.地方交付税	20億7,611万円	国から配分される税金
10.交通安全対策特別交付金	49万円	交通安全対策のための交付金
11.分担金及び負担金	4,364万円	幼稚園や福祉施設などの利用者の負担金
12.使用料及び手数料	1億6,410万円	町営住宅使用料や戸籍等の証明手数料
13.国庫支出金	2億9,966万円	国からの補助金や負担金
14.道支出金	1億4,112万円	道からの補助金や負担金
15.財産収入	4,830万円	町有財産の賃貸料や預金利息
16.寄附金	7,035万円	町民の皆さんや多くの方々からの寄附金
17.繰入金	106万円	町の貯金(基金)からの繰入金
18.繰越金	9,573万円	前年度から持ち越したお金
19.諸収入	4,179万円	その他の収入
20.町債	2億9,964万円	地方交付税の削減分の一部を借りるお金や建設事業を実施するための借金

歳入総額 40億6,850万円



9.地方交付税は、歳入の半分を占めています。また、昨年と比べて1億3千万円程度増加しています。



歳出

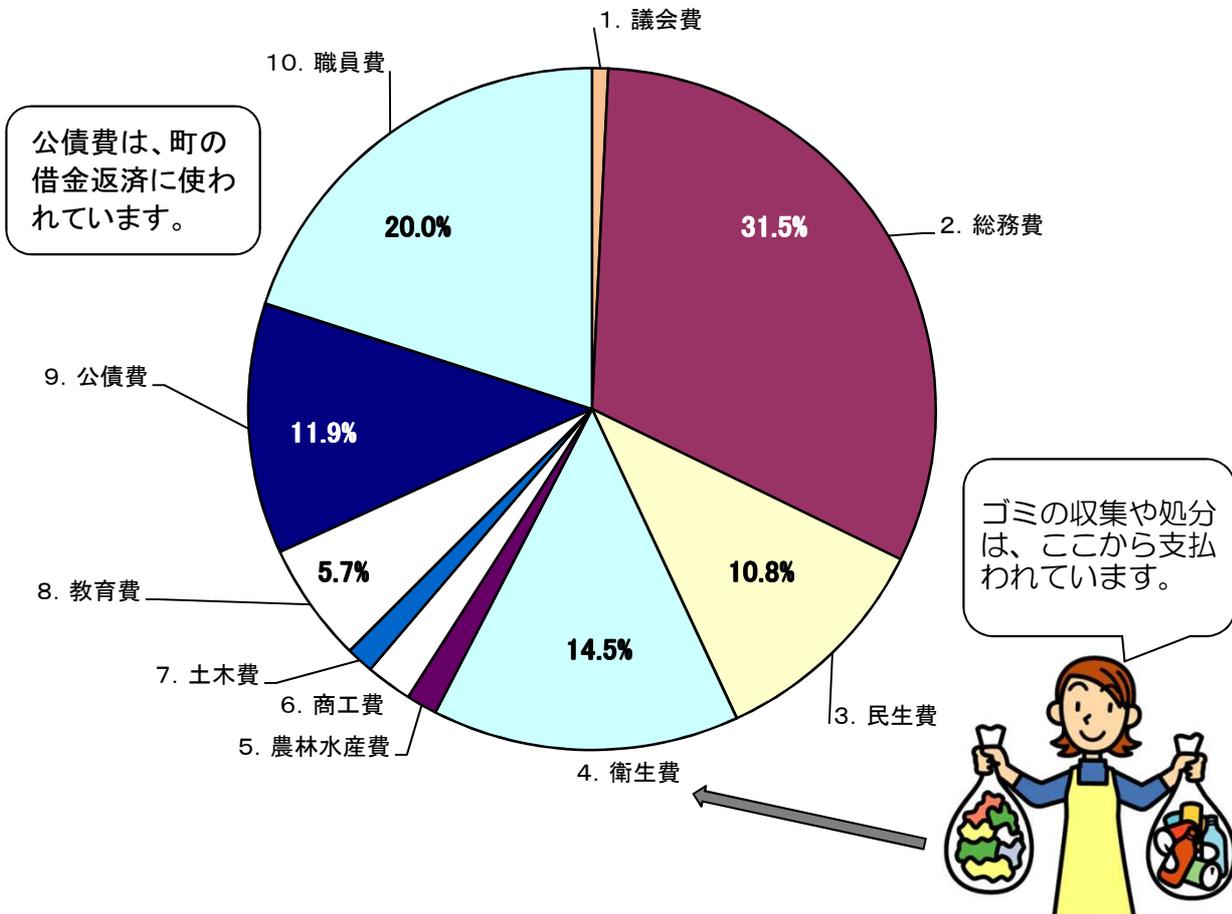
(町のために使われたお金です)

1. 議会費	2,985 万円	議員の報酬や議会活動のための経費
2. 総務費	12 億 4,208 万円	町の財産管理や消防署を運営するための経費
3. 民生費	4 億 2,617 万円	高齢者や身体障がい者等の福祉などの経費
4. 衛生費	5 億 6,964 万円	保健、合併浄化槽、ゴミ等の環境対策の経費
5. 農林水産費	5,728 万円	農林・水産業の振興や深層水活用等の経費
6. 商工費	8,619 万円	商工業・観光振興や世界自然遺産の保護管理等の経費
7. 土木費	5,066 万円	道路整備、維持補修や除雪等の経費
8. 教育費	2 億 2,326 万円	小中学校や幼稚園、社会教育、体育館事業等の経費
9. 公債費	4 億 6,890 万円	事業を行うために借りたお金の償還金
10. 職員費	7 億 8,765 万円	職員の人件費



昨年と比べ、約1千万円の支出の増額となっています。
各費目の詳しい支出については次ページをご覧ください。

歳出総額 39億4,168万円



★どんな事に使われているのでしょうか？★

1 議会費	議会議員の報酬や議会運営するための経費	2,985 万円
-------	---------------------	----------

2 総務費		12 億 4,209 万円
	役場庁舎の管理費	2,228 万円
	消防署を運営するための負担金	2 億 3,942 万円
	国保診療所建設基金やまちづくり基金（貯金）等	6 億 3,686 万円
	町内バス（100円バス）を運行するための委託料	3,218 万円
	公営住宅の補修費等	1,104 万円
	町内防犯灯や電気料補助等	400 万円
	電子自治体情報システム負担金や町ホームページの経費	2,112 万円
	防災無線維持管理費	1,139 万円
	その他公立学校住宅償還金や各種選挙の経費等	2 億 6,380 万円



消防署では、町民の安心・安全な暮らしを守るために活動しています。



3 民生費		4 億 2,617 万円
	福寿園の管理運営費	617 万円
	福寿園のデイサービス業務運営の委託経費	1,923 万円
	老人ホーム入所に係る措置費	498 万円
	身体障がい者補装具給付費や施設入所支援費	7,278 万円
	特別会計（国民健康保険）への繰出金	8,318 万円
	特別会計（介護保険）への繰出金	5,101 万円
	特別会計（後期高齢者医療）への繰出金	1,477 万円
	児童手当の給付	1 億 459 万円
	その他介護予防生活支援事業や重度心身障がい者医療扶助等	6,946 万円



4 衛生費

5億 6,964万円

生活習慣病・がん検診・各種予防接種に関する経費		1,129万円
葬斎場や墓地管理運営経費		510万円
公営企業会計（国保診療所）への繰出金	1億	3,025万円
公営企業会計（水道事業）への繰出金		6,153万円
合併浄化槽を普及するための助成金等		1,152万円
し尿処理やゴミの収集・処分に係る経費	3億	120万円
アキサケの内臓やイカゴロ等の水産物から出る処分費		2,459万円
その他乳幼児医療助成や鳥獣保護管理費等		2,416万円



毎年、ゴミ処理等に約3億円も使っています。ゴミの量を減らしリサイクルを進めましょう！

5 農林水産業費

5,728万円

家畜排せつ処理施設整備に係る経費等		941万円
土砂崩れや雪崩等を防ぐ保安のための経費		1,478万円
ウコの生育範囲を広げるための事業		566万円
漁港の整備や維持管理費		967万円
深層水給水施設整備や管理費		237万円
その他ウ二種苗生産施設や北方四島周辺海域操業に要する経費等		1,539万円



6 商工費

8,619万円

商工会を運営するための補助金		1,079万円
知床開きを実施するための経費		371万円
道の駅内の知床らうす交流センター管理費		628万円
観光協会を運営するための補助金		740万円
公園管理等に要する経費		525万円
世界自然遺産保護のため知床財団への出資金等		233万円
温泉の整備や維持管理費		1,620万円
その他中小企業資金利子補給金やビジターセンター管理費等		3,423万円



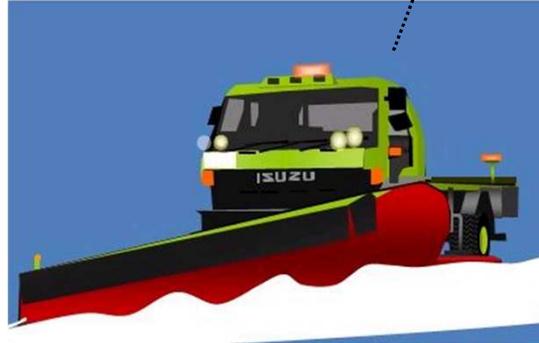
7 土木費

5,066 万円

除雪機の借上料・除雪委託料や道路修繕料等
 その他道路・排水施設工事

4,252 万円

814 万円

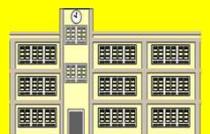


近年は雪が少く、除雪費等が4千万円ぐら
 いで済みました。
 雪の量の多い年であれば、7~8千万円も
 必要になるんですよ。

8 教育費

2 億 2,325 万円

英語指導助手を招くための経費	432 万円
各学校のコンピューターリース料	322 万円
各小学校を管理運営するための経費	3,803 万円
各中学校を管理運営するための経費	2,763 万円
各幼稚園を管理運営するための経費	1,594 万円
ふるさと少年探険隊等の事業に係る経費	157 万円
公民館の管理運営費	1,170 万円
体育館の管理運営費	1,104 万円
総合グラウンド管理運営費	1,059 万円
温水プール管理運営費	767 万円
給食センター管理運営費	5,817 万円
その他図書室・郷土資料室やスポーツ振興事業等	3,337 万円

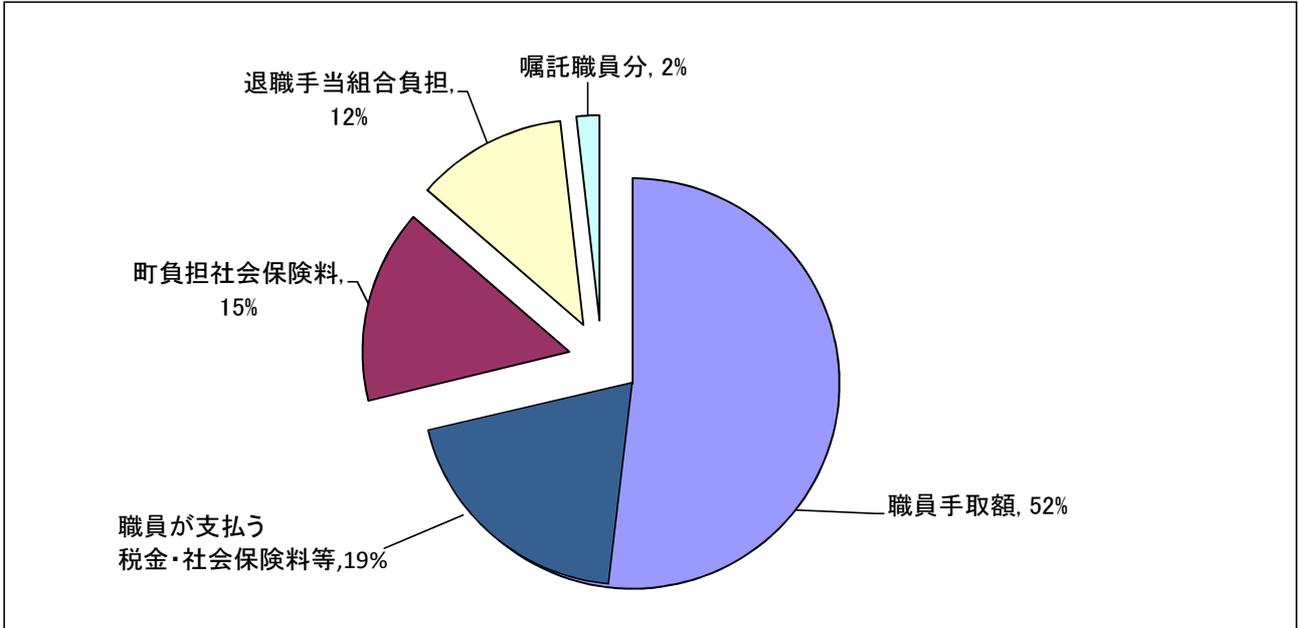


9 公債費

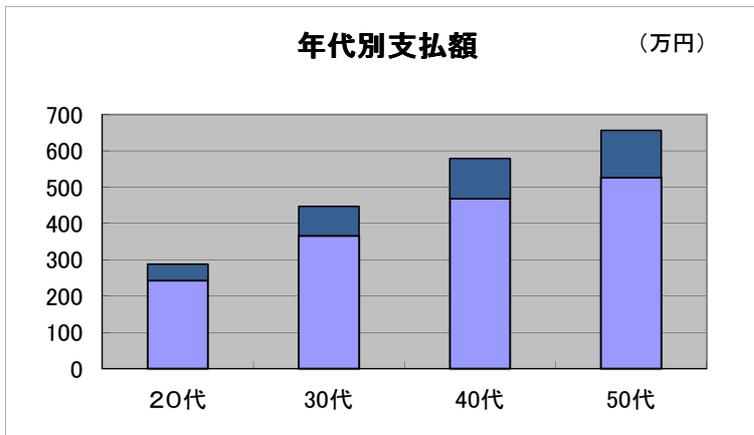
1 年間の借金返済額

4 億 6,890 万円

●職員費全体の支出構成内訳です。



本俸と手当から所得税・町民税・社会保険料・年金等の天引きをし、職員に支払われます。年代別にも見てみましょう。



※グラフの上段は天引きする税金や社会保険料を表示しています。



職員の給料は、通常8%をカットして支払っています。

★町の貯金と借金を町民一人あたりとして計算すると★

ここでは、羅臼町の貯金と借金を町民一人当たりで計算してみたら、いくらになるか計算してみました。



○羅臼町の人口（平成23年3月末人口）
5,908 人

町の人口は
減少傾向です

○貯金（基金という）：全ての会計合計
16億 8,789 万円

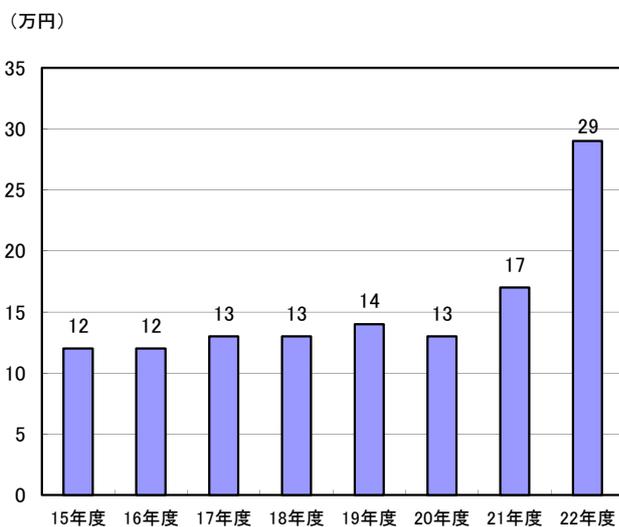
○借金（一般会計起債及び水道会計起債）
59億 6,043 万円

これを元に一人あたりとして計算してみると・・・



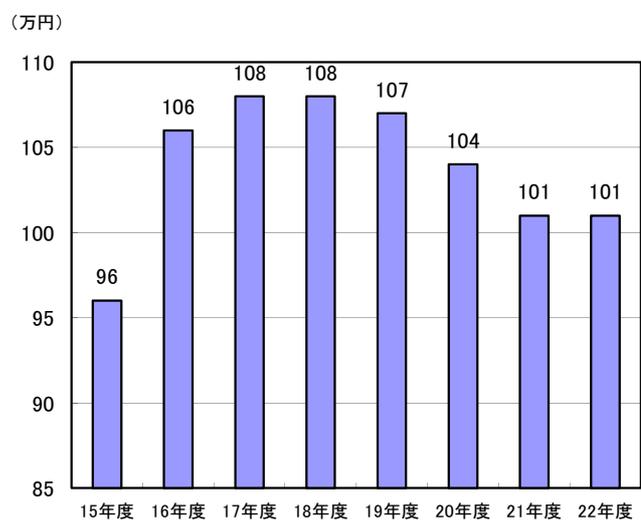
22年度末の
貯金は約29
万円です。

これまでの貯金の推移



22年度末の
借金は約101
万円です。

これまでの借金の推移



今までは、一般会計について説明しましたが、特別会計や公営企業会計についても簡単に説明します。
使われている金額は、1ページをご覧ください。



特別会計	国民健康保険	町全体の65%以上の方が国民健康保険に加入しています。病院受診をした時に本人が支払っているのは3割で、残り7割は国民健康保険から各病院に支払いしています。
	介護保険	高齢により体が不自由になったり認知症の方などが、ヘルパーさんを使った生活介護、施設入所などした場合の料金の9割を支払いしています。(利用する上で、認定が必要です)
	老人保健	75歳以上の方が病院受診した場合、本人支払い分の医療費一部を老人保健から支払いしています。尚、この会計は、今年度で廃止となり、後期高齢者医療に移行します。
	後期高齢者医療	75歳以上および65歳以上の一定以上の障害のある方が、後期高齢者医療の被保険者になります。(※70歳以上は原則1割。現役並みの所得を有する者は3割)
	国民健康保険診療所	羅臼町国保診療所の運営に関わる経費です。病院会計の廃止に伴い、平成20年度から診療所特別会計が新設されました。
公営企業会計	水道事業	町内にある3ヶ所の水道施設の維持管理をし、皆さんの家庭まで安全でおいしい水を供給しています。この会計は赤字なので3年に1度、料金の見直しをしています。



特別会計や公営企業会計にはそれぞれの役割があるんですね。

滞納が財政を圧迫しています！

～税金や使用料等の滞納状況～

町	税	1億8,335万円
国	保 税	2億4,844万円
介 護 保 険 料		771万円
水 道 料		2,231万円
給 食 費 負 担 金		401万円
後期高齢者医療保険料		9万円
診 療 所 診 療 収 入		283万円
住 宅 使 用 料		4,820万円
土 地 使 用 料 ・ そ の 他		1,595万円
合	計	5億3,289万円

町民は、税金や使用料を支払う義務があり、その支払われたお金は町の運営を支えるための重要なものです。

しかし、上記のとおり多額の滞納があり、町の運営に大きな支障となっています。

町では公正・公明・公平の観点から滞納金の回収に力をいれており、税については町独自の差押さえはもとより、釧路・根室広域地方税滞納整理機構を活用しながら、強力に滞納整理を推し進めています。



発 行

平成23年12月26日
羅臼町役場 税務財政課